

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力を育てたい	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点 ・未来社会を創造する ・歩み寄り ・環境の整備 ・能力を身に付け、学び続ける子の育成	⑤安全・安心で快適な学校環境の整備 ④D・Xをとりこめ、地域で豊かな心、自己実現を促す ③学校・地域・関係者の協働による郷土教育の推進 ②子どもたちの健康な身体を育み、生きて働く力を身に付ける教育の推進 ①豊かな心、自己実現を促す、確かな学力を育み、生きて働く力を身に付ける教育の推進	心ゆたかにたくましく生きる子	たくましく生きる力 未知の状況を乗り越え、よりよく生きる子	学習（知）	①「主体的・対話的で深い学び」を生み出す授業改善	教員アンケートを100%にする	A	○児童の主体的な学びを生み出すために、教科部で検討しながら教師一人ひとりが研究テーマを明確にして授業を行うことができた。 ○相手意識のある対話を行えるように、対話の視点を明確にして授業を行うことができた。 ○児童に創意工夫・試行錯誤を求めるだけでなく、教師自身も創意工夫のある活動を計画し、位置づけることができた。（児童93%、職員85%） ●CRTの結果から学年の経年変化を分析して、さらなる基礎・基本の定着に注力する必要がある。 ●全国学力・学習状況調査では、質問については全国平均を上回る結果となったが、学力ではほぼ同じかやや低い結果となった。
					①基礎基本を確実に定着させる	教員アンケートを100%にする	B	
					①相手意識のある対話をする	児童アンケートを80%にする 教員アンケートを100%にする	A	
					①批判的思考を活性化させる	児童アンケートを80%にする 教員アンケートを100%にする	B	
					①④創意工夫、試行錯誤できるようにする	児童アンケートを80%にする 教員アンケートを100%にする	A	
				生活（徳）	②なりたい自分を常に意識させる	児童アンケートを80%にする	A	○学校・保護者が、児童のなりたい自分を共有し、支援することで96%の児童がなりたい自分に向けて努力していると感じることができた。 ○いじめを無くすための指導を繰り返し行うことができた教員100%。いじめをしていない児童94%。教育相談やアンケート調査をもとに、早期対応・早期解決に努め、いじめゼロの風土を築くことができた。 ○新しいことに挑戦する姿を価値づけることで、挑戦していると意識できた児童93%。授業や分掌で新しいアイデアを出して実践することができた職員88%。 ●新しいアイデアや疑問をあまり出せていないと感じている児童14%。どの子も自分なりのアイデアで活動していけるよう引き続き支援していく必要がある。
					②自治力を高める	自分たちのアイデアを生かした活動をする	B	
					①仲間を認め、思いやる心を育む	目を見て元気よくあいさつする（児童・保護者アンケート90%） ありがとうの気持ちで掃除をする（児童・教師アンケート）	A	
					①いじめゼロを目指す	教育相談やアンケート調査を実施、問題発生時には、組織を活用した早期対応・早期解決に努める	A	
					②新しいことに挑戦できるようにする	児童アンケートを80%にする 教員アンケートを100%にする	A	
				健康・安全（体）	⑤危機対応力を高める	教員アンケートを100%にする	A	○児童の健康・安全確保のために、常に危機管理意識をもつとともに子ども自身が自分の命を自分で守ることができるように指導できた職員100%。自分の命を自分で守れたと感じている児童98%。 ○総合学習、クラブ、体育のダンス、水泳、スキー教室等、多くの教育活動に地域の外部講師を招き、専門的な指導のもと体験活動を充実させることができた。 ○まちづくりへ参画するために、6年生の総合的な学習の時間では、市役所子ども未来部の協力を仰ぎ取り組むことができた。 ○七夕飾り、雛飾りなどのハード面から季節感を味わわせること、ワクワク学びなどでソフト面から季節感を味わわせることなど、両面から職員のアイデアを生かした活動を行うことができた。
					①体を鍛える	業間の休み時間、昼休みの外遊びを行う	A	
					②まちづくりへ参画する	6年生児童のアイデアを市に発信する活動をする	A	
					③③ホンモノに触れさせる	地域の方等を招き、体験活動を充実させる	A	
					①季節感を味わわせる	職員のアイデアを生かした活動をする	A	

学校運営協議会における主な評価内容

○先生たちと子どもたちの距離感、雰囲気がいよい。特別支援学級もよい雰囲気だった。○後期の委員会委員長の児童が、ちゃんと意見が言える姿を見て安心した。○学校が、子ども一人ひとりの自己肯定感を伸ばすことを大切にしてくれていると感じている。
☆これからも学校だからこそ学べることを大切にしていって欲しい。☆さらに子ども達からのアイデアを学校づくりに生かしていって欲しい。